



2023年11月 現在

## FUJITSU Software

### Interstage List Creator Enterprise Edition V11.0.0

本製品は、ビジネス分野で必須の罫線 / 網がけを使った本格的な帳票を簡単に設計し、ノンプログラミングで帳票を出力するためのソフトウェアであり、Webブラウザからの印刷、高速PDF変換などの大規模インターネットビジネスに適しています。

Interstage List Creator Enterprise Editionは、Interstage List Creator Standard Editionの機能を包含し、さらに、Excel生成やPDFの高速生成、Web環境における帳票業務をサポートします。

- **サーバ**

SPARC Enterprise Tシリーズ / SPARC Enterprise Mシリーズ / SPARC Servers / マルチベンダーサーバ・クライアント / FUJITSU Cloud Service for SPARC

---

- **Webプラグイン**

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / FMV / PRIMERGY

---

- **Workstation機能**

FMV / マルチベンダーサーバ・クライアント

- **サーバ**

Solaris 11(64bit)

---

- **Webプラグイン**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1 /  
Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit)

---

- **Workstation機能**

Windows 11(64-bit) / Windows 10(64-bit) / Windows 10 / Windows 8.1(64-bit) / Windows 8.1

## 1. セールスポイント

Interstage List Creator Enterprise Editionは、帳票の出力業務をトータルにサポートします。また、様々な帳票出力形態（プリンタ、電子帳票保存、PDF、Excel）をサポートします。

- ・インターネットビジネスへの適用

Webアプリケーション製品との連携機能、Webブラウザからの印刷機能、Java環境での帳票出力機能などインターネットビジネスにマッチしたWebベースの印刷機能を提供します。また、ホスト連携製品およびMeFtで作成した帳票の高速PDF変換機能を実現しています。

- ・ノンプログラミングで帳票出力を実現

帳票定義と入力データ（XML形式、テキスト形式、またはCSV形式）を指定するだけで、帳票レイアウトに自動的にフォーマットして、帳票を出力できます。

データベースよりデータを抽出して帳票を出力することができます。

帳票を出力するために、新たにアプリケーションを作成する必要はありません。

さらに、Interstage List Worksと連携することで、電子帳票保存ができます。

- ・多様な帳票出力環境の提供

大量帳票出力や離れた場所にあるサーバへ帳票出力が行えます。別のサーバからの要求による帳票出力は、Interstage List Creator Connectorとの連携によりアプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。また、別のサーバからの出力要求時に、ExcelファイルやPDFファイル、OWFファイル（Interstage List Creatorの独自コンテンツ）を作成して、作成したファイルを要求元サーバに転送できるので、Webアプリケーションサーバ - WWWサーバ - WWWクライアントの3階層のWeb環境を簡単に構築できます。

- ・効率的な帳票保守

システム運用開始後の帳票レイアウト変更や、出力先プリンタの変更、電子帳票運用への切替えといった帳票業務の変更を、簡単、迅速かつ的確に対応することができます。

- ・ERP連携

GLOVIA, SAP R/3といったERP製品と連携することにより、ERP製品に対して簡単にWeb帳票ソリューションを付加できます。

## 2. 機能詳細(Standard Editionとの共通機能)

### (1) 帳票フォーマット機能

帳票定義と入力データを指定するだけで、自動的に帳票レイアウトにフォーマットして帳票を出力します。帳票を出力するために、新たにアプリケーションを作成する必要はありません（ノンプログラミング）。入力データは、XML形式、テキスト形式またはCSV形式のため、入力データを生成するアプリケーションサーバの機種を問いません。

また、帳票設計時に設定した出力形式に従った印刷や、Interstage List Worksと連携した電子帳票保存を実行します。

### (2) データベース連携

事前にデータベースからデータの抽出条件を作成しておくだけで、データベースよりデータを自動抽出して帳票を出力できます。

### (3) Webアプリケーション製品との連携

Javaインタフェースにより「Interstage Application Server」などと連携したシームレスな帳票出力を実現することにより、Webシステムの開発工数削減や本格的なビジネス帳票運用が可能となります。

### (4) 多様な分散帳票出力機能

リモート帳票出力機能により、別のサーバ（Oracle Solaris(TM) Operating System(以降Solaris OSと略)、Windowsサーバ, Windowsクライアント, Linux）への大量帳票出力ができます。

また、別のサーバ (Solaris OS, Linux) からの要求で大量帳票出力ができます。これにより、ExcelファイルやPDFファイル、OWFファイルを作成する負荷を分散して、帳票出力環境を構築できます。なお、Interstage List Creator Connectorと連携することで、アプリケーションサーバの負荷を分散した帳票出力環境を構築できます。

Interstage List Creator Connectorとの連携では、別のサーバ (Solaris OS, Windowsサーバ, Linux) からの要求で、ExcelファイルやPDFファイル、OWFファイルを作成して、作成したファイルを要求元サーバに転送することもできます。これにより、WWWクライアントからの要求で、WWWサーバ側で指示を行ってWebアプリケーションサーバ上でExcelファイルやPDFファイル、OWFファイルを作成し、WWWサーバに転送して、WWWクライアントで参照や印刷を行うといった、Webアプリケーションサーバ-WWWサーバ-WWWクライアントの3階層のWeb環境を簡単に構築できます。

Solaris OSから、Windowsサーバへ帳票出力を行うことで、Windows版 Interstage List Creator、Interstage List WorksやInterstage Print Managerが提供する機能を使用することができます。

また、WindowsクライアントOSが動作する帳票出力サーバへ帳票出力を行うことで、Windows版 Interstage List CreatorやInterstage Print Managerが提供する機能を使用することができます。

#### (5) 各種インタフェースを実装

各種アプリケーションサーバに対応するためのインタフェースを提供します。提供インタフェースは、Java、COBOL、およびコマンドです。

#### (6) セキュリティ機能

どのような帳票出力が行われたかは全て監査証跡ログに採取されます。

また、出力する帳票に所有者や日時などを特定するためのID印刷が可能です。

これらの機能により、いざと言う場合の帳票の追跡を可能とします。

### 3. 機能詳細(Enterprise Editionのみの機能)

#### (1) PDF高速生成機能

大量ページの帳票でもコンパクトなサイズのPDFに変換できます。また、大量ページや多重時でも高速にPDFへの変換が可能です。

#### (2) PDFのセキュリティ機能

生成したPDFの閲覧制限機能を提供します。これにより、サーバからダウンロードすると閲覧できない、期限が過ぎたら開けないなどのセキュリティを適応したPDFを生成できます。

#### (3) Webブラウザを使って帳票を出力

WWWサーバで一元管理されている帳票資源をクライアントPC上で動作するWebブラウザを使って手元印刷したりプレビューすることができます。これにより、サーバへの負荷や回線負荷をかけず、ずれのない綺麗な帳票印刷をWeb環境で実現できます。また、Webブラウザで動作するWebプラグインはライセンスフリーで提供します。

#### (4) MeFtとの連携

MeFtのプリンタ情報ファイルのストリーム種別に「PDF」を定義すると、Interstage List Creator Enterprise EditionのPDF生成ルーチンが呼び出され、MeFtで作成した帳票データのPDF変換を行えます。

#### (5) ホスト連携製品との連携

Interstage List Worksのホスト帳票受信サービスで、配信環境定義ファイルのノードに固定文字"!PDF"を定義すると、Interstage List Creator Enterprise EditionのPDF生成ルーチンが呼び出され、メインフレーム帳票データのPDF変換が行われます。

#### (6) Excelファイル生成機能

OpenXML形式に準拠したExcelファイル形式に帳票を出力することが可能です。

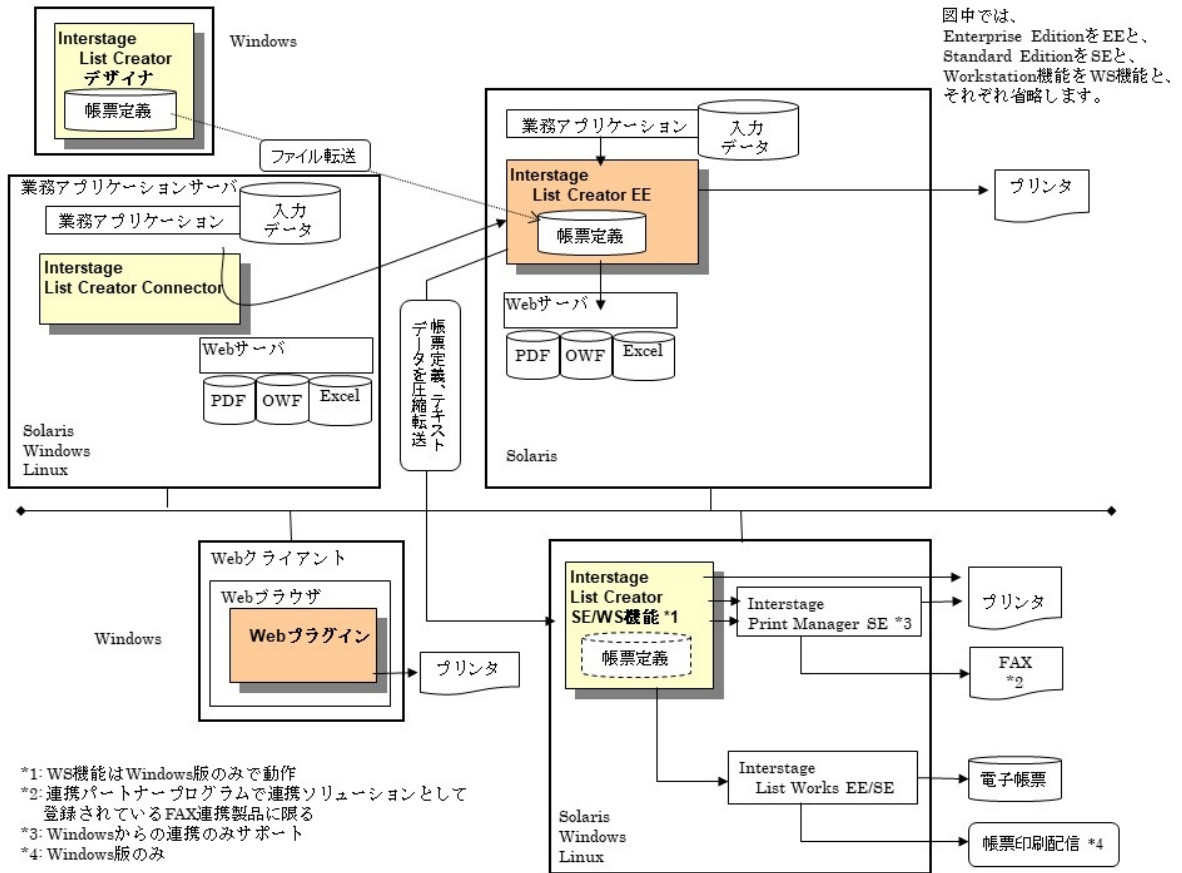
### 4. 利用による効果

・Solaris OSやWindows、Linuxといった異なるオペレーティング・システムが混在した環境であっても、帳票出力業務を短期間で構築することができます。

・入力データがテキスト形式、CSV形式またはXML形式であり、分散帳票出力時のデータ転送サイズを小さくことができ、LAN-WAN-LAN環境でもネットワーク帯域を有効に活用することができます。

・印刷処理から電子帳票保存への切替えなど、帳票業務の変更が短期間で簡単に行えます。お客様の業務アプリケーションを変更する必要はありません。

# システム/機能構成図



V10.0.0からV11.0.0の機能強化項目は以下のとおりです。

### 1. Web手元印刷機能の強化

-Web手元印刷機能で、Google ChromeおよびMicrosoft Edgeを利用できるようになりました。

-Webプラグインで印刷時に出力可能なページ数を9,999,999ページに拡張しました。

### 2. 帳票出力機能の強化

-Javaインタフェースについて、コネクタ連携を行う場合、64ビットのJava実行環境に対応しました。

-新元号「令和」に対応しました。また、和暦の1年を「元年」と表記できる機能を追加しました。

-和暦のカスタマイズができるようになりました。

-Excelファイル出力について、Microsoft Excel 2013、Microsoft Excel 2016、およびMicrosoft Excel 2019に対応しました。

-PDF手元非表示印刷機能およびPDFリモート印刷機能で、以下の製品に対応しました。

- Adobe Acrobat DC 2015、Adobe Acrobat DC Continuous、Adobe Acrobat 2017

- Adobe Acrobat Reader DC 2015、Adobe Acrobat Reader DC Continuous、Adobe Acrobat Reader 2017

-PDF手元非表示印刷機能で、Microsoft Edgeに対応しました。(\*1)

\*1：IEモードのみサポートします。

### 3. 新OS対応

-Web手元印刷機能で、以下のOSに対応しました。

- Windows Server 2022

- Windows Server 2019

- Windows 11

-Workstation機能で、以下のOSに対応しました。

- Windows 11

- Windows 10



- ・ オンラインマニュアル
  - ・ マニュアル体系と読み方
  - ・ リリース情報
  - ・ 解説編
  - ・ 帳票設計入門ガイド
  - ・ 帳票設計編
  - ・ 環境設定・帳票運用編
  - ・ アプリケーション作成ガイド
  - ・ PDF変換機能編
  - ・ Excel ファイル出力機能編
  - ・ COBOLアプリケーション連携機能編
  - ・ ERP連携編
  - ・ トラブルシューティング集
  - ・ メッセージ集
  - ・ 用語集

### 【メディアパック】

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition メディアパック (32bit) V11.0.0

### 【ライセンス】

- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) V11
- ・ Interstage List Creator Enterprise Edition プロセッサライセンス (1年間24時間サポート付) アップグレードキット V11

本商品のライセンス製品には、初年度の「SupportDesk Standard」がバンドルされています。

### 1. メディアパックについて

メディアパックは、媒体(CD/DVD等)のみの提供です。使用権は許諾されておりませんので、別途ライセンスを購入する必要があります。また、商品の導入にあたり、最低1本のメディアパックが必要です。バージョンアップ/レベルアップを目的に本メディアパックのみを手配することはできません。

### 2. プロセッサライセンスについて

プロセッサライセンスは、本商品をインストールするサーバに搭載されているプロセッサ数に応じて以下の通りに必要となるライセンスです。

- ・シングルコアプロセッサの場合は、1プロセッサ（CODモデルの場合はCPU RTUライセンスを持つ稼働CPU）あたり1本の購入が必要です。

- ・マルチコアプロセッサの場合は、コアの総数に特定の係数を乗じた数（小数点以下端数切上げ）分のライセンスの購入が必要です。

- SPARC M12/M10 では、CPU コアアクティベーションキーにより有効化されたコアの総数に特定の係数を乗じます。

- SPARC Enterprise/PRIMEPOWER のCOD モデルでは、CPU RTU ライセンスを持つ稼働CPU 上のコアの総数に特定の係数を乗じます。

マルチコアプロセッサにおける係数については、「関連URL」に記載の「ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）」内、「ライセンスについて、くわしく知る」を参照ください。

### 3. Webプラグインについて

Interstage List Creator Enterprise Editionに添付されるクライアントソフトウェア（Webプラグイン）は、複数台のPCにインストールすることができます。

### 4. Workstation機能について

Interstage List Creator Enterprise Editionには、Workstation機能が同梱されており、接続するクライアントに対してインストールフリーです。

### 5. 運用待機形態で運用する場合の購入方法

1対1運用待機形態で運用する場合は、2ノードを1システムと考えて、1システムに本製品を1つ購入することで使用することができます。

### 6. 運用待機形態以外で運用する場合の購入方法

各ノード単位に、本製品を購入する必要があります。

### 7. ダウングレード使用（旧バージョン商品の使用）について

本商品のライセンスでは、ダウングレード使用（本商品の旧バージョンを使用）する権利はありません。

対象のバージョンを使用する場合は、対象のバージョンに対応したライセンスをご購入ください。

### 8. 7.xからのバージョンアップについて

7.xの本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、新バージョンを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。なお、「SupportDesk」の詳細については、弊社営業/SE にお問合せください。

### 9. 6.x以前からのバージョンアップについて

6.x以前の本商品をお持ちの場合は、弊社営業/SEにお問い合わせください。

### 10. アップグレード時の製品購入方法

下表に示す製品を購入することで、Interstage List Creator Standard Editionからのアップグレードが可能です。

アップグレード対象製品	アップグレード時に購入する製品	備考
Interstage List Creator Standard Edition プロセッサライセンス V11	Interstage List Creator Standard Edition プロセッサライセンス アップグレードキット V11	対象製品保有分、手配可能です。

### 1. 利用者定義文字を使用する場合

Interstage Charset Manager Standard Edition Agent 9.3.0以降

### 2. VSP/PS5000シリーズへ印刷する場合

(1)FNP出力する場合

Business Printer Control 1.0、またはPrintWalker/BPC 6.0以降

(2)FM出力する場合(VSPシリーズのみ)

BSNPS 3.2(\*1)、または

Business Printer Control 1.0、または

PrintWalker/BPC 6.0以降

\*1：FM出力でUNIX形式(KOL5)オーバーレイを使用する場合、BSNPS 2.0以降から使用できます。

### 3. 電子帳票を保存する場合

Interstage List Works Standard Edition/Enterprise Edition V10.1.0以降

### 4. Web手元印刷機能を使用する場合

(1) サーバ側には、以下のソフトウェアが必要です。

Webサーバ機能を提供するソフトウェア製品

(2) Webプラグイン側には、以下のソフトウェアが必要です。

- ・Webブラウザ(\*1)

- ・ [OCR-B項目を使用する場合] OCR-Bフォント for Windowsに含まれるOCR-Bフォント「OCR-B FJ」

\*1：Webブラウザは以下のとおりです。

- ・ Internet Explorer 11

- ・ Google Chrome

- ・ Microsoft(R) Edge

以下のWebブラウザは、サポートしていません。

- ・ Internet Explorer(64bit版)

- ・ Windows 8.1のスタート画面から起動できるInternet Explorer 11

### 5. 帳票設計をする場合

Windows版 Interstage List Creator デザイナ V9以降

また留意事項があります。下記を参照してください。

- ・ 留意事項「帳票設計環境と出力環境の運用について」

### 6. コネクタ連携機能

(1)Solarisへのコネクタ連携機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition 7.0以降(Solaris版)

(2)Windowsへのコネクタ連携機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10以降(Windows版)

(3)Linuxへのコネクタ連携機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10以降(Linux for x86(PRIMERGY)版) または、

Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0L10以降(Linux for Itanium(PRIMEQUEST)版) または、

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V9.1.0以降 (Linux for Intel64(PRIMERGY)版)

---

## **7. リモート帳票出力機能**

(1)Solarisへのリモート帳票出力機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition 7.0以降(Solaris版)

(2)Windowsへのリモート帳票出力機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition/Workstation V7.0L10以降(Windows版)

(3)Linuxへのリモート帳票出力機能を使用する場合

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V7.0L10以降(Linux for x86(PRIMERGY)版) または、

Interstage List Creator Enterprise Edition V7.0L10以降(Linux for Itanium(PRIMEQUEST)版) または、

Interstage List Creator Enterprise Edition/Standard Edition V9.1.0以降 (Linux for Intel64(PRIMERGY)版)

---

## **8. ホスト帳票をPDF変換する場合**

Interstage List Works 10.1.0以降(帳票受信サービス)

---

## **9. MeFt帳票をPDF変換する場合**

MeFt 10.0.0以降

### 1. プリンタ

PS5000シリーズ、VSPシリーズ

---

### 2. 負荷分散運用を行う場合

IPCOM EX2-1100、IPCOM EX2-3200、またはIPCOM EX2-3500

### 1. Windows サーバOS (64-bit)上での動作

本商品のWebプラグインは、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows Server 2016(64-bit)
- Windows Server 2019(64-bit)
- Windows Server 2022(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

### 2. WindowsデスクトップOS(64-bit)上での動作

WebプラグインおよびWorkstation機能は、以下のOSのWOW64(注)サブシステム上で、32ビットアプリケーションとして動作します。

- Windows 8.1(64-bit)
- Windows 10(64-bit)
- Windows 11(64-bit)

注：Windows 32-bit On Windows 64-bit

### 3. 帳票設計環境と出力環境の運用について

(1) Interstage List Creator デザイナ V10.0.0以前で作成した帳票を、Solaris版 List Creator V11.0.0で帳票出力する場合

V10.0.0以前のList Creator用に作成した帳票は、Solaris版 List Creator V11.0.0でそのまま使用できますが、以下の指定がある帳票は、Solaris版 List Creator V11.0.0では出力できません。

- データ定義でDBタイプに「Oracle」が指定されている場合
- XBRLデータとの対応付けが指定されている場合

(2) Interstage List Creator デザイナ V10.1.0からV11.0.0で作成した帳票を、Solaris版 List Creator V11.0.0で帳票出力する場合

(1)に加えて、以下の留意事項があります。

Solaris版 List Creator V11.0.0は、Windows/Linux for Intel64(PRIMERGY)版 List Creator V10.1.0からV11.0.0までの、追加機能の一部のみ対応しています。

このため、帳票出力サーバ側のSolaris版 List Creator V11.0.0のサポート機能の範囲内でのみ使用できます。

例えば、V10.1.0からV11.0.0までのList Creator デザイナを使用して、Solaris版 List Creator V11.0.0でサポートしていない機能を定義した帳票をSolaris版 List Creator V11.0.0で出力しようとする、エラーとなります。

帳票出力する場合に、留意が必要な互換情報など詳細は、オンラインマニュアル「リリース情報」を参照ください。

(3) Interstage List Creator デザイナ V11.0.0で作成した帳票を、旧バージョン製品で帳票出力する場合

帳票出力サーバ側の旧バージョン製品のサポート機能の範囲内でのみ使用できます。機能レベルの低い方の機能範囲で使用してください。

例えば、Interstage List Creator デザイナ V11.0.0を使用して、旧バージョン製品でサポートしていない機能を定義した帳票を旧バージョン製品で出力しようとする、エラーとなります。

### 4. クラスタシステム上での動作について

本製品は、フェールオーバには対応していませんが、クラスタシステム上で動作可能です。

### 5. 生成されるPDFファイルについて



本製品によって生成されるPDFファイルは、Portable Document Format Reference Manual Version 1.3に基づいています。このため、Adobe Acrobat Reader DC以降またはAdobe Acrobat DC以降を使用して参照する必要があります。

---

## 6. 生成されるExcelファイルについて

本商品によって生成されたExcelファイルはMicrosoft Office Open XML形式に基づいています。このため参照する場合には以下のいずれかのソフトウェアが必要です。

- Microsoft Office Excel 2013/2016/2019

---

## 7. IPv6について

[サーバの場合]

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できません。

[Workstation機能の場合]

(1) IPv6のグローバルユニキャストアドレス、ユニークローカルユニキャストアドレスのみが使用できません。

(2) Interstage Print Managerと連携して高信頼印刷を行う場合、メッセージ通知先としてIPv6アドレスおよびIPv6ホストを指定することはできません。Print Managerのネットワーク環境については、ご利用のPrint Managerに添付のオンラインマニュアルをご確認ください。

---

## 8. Windows Server OSでの留意事項

Webプラグイン機能を使用する場合

- Windows Server 2016以降で印刷中にOSのスプーラから、印刷の取り消しを行うと、List Creatorから出力されるエラーがID：1050ではなく、ID：1299のエラーが通知される場合があります。

---

## 9. Windows 8.1、Windows 10、およびWindows 11での留意事項

- 新しいWindows UIのInternet Explorerはサポートしていません。

- Windows 8.1、Windows 10、およびWindows 11にビルトインされているPDFビューアはサポートしていません。Adobe Acrobat Reader/Acrobatをご使用ください。

- Windows 8.1以降で印刷中にOSのスプーラから、印刷の取り消しを行うと、List Creatorから出力されるエラーがID：1050ではなく、ID：1299のエラーが通知される場合があります。

---

## 10. Windows 10以降でWeb手元印刷機能を使用する場合の留意事項

- 外字がエンベッドされたOWFファイルをWebプラグインで出力する場合、その環境に帳票設計時に指定したフォントがインストールされていないと、出力エラーになります。OWFファイルをプレビュー、または印刷する環境に、フォントがインストールされているかを確認ください。

- フォントのリンクの差異により、以下のコードを印刷した場合、Windows8.1とWindows10以降で結果が異なる場合があります。このため、以下の未定義文字は使用しないでください。

	0x00～0x1B	0xC898 (UTF-8) 0x0218 (UCS2)
Windows8.1	空白	中点
Windows10 以降	中点または文字	文字

## 11. タイ語でPDF出力を行う場合の留意事項

タイ語でPDF出力を行う場合、使用するタイ語フォントごとに個別の対応が必要となります。

詳細については、「関連URL」に記載の「FUJITSU Software(Interstage List Creator)」内、「本製品のお問い合わせ」までお問い合わせください。

## 12. 前版との差異について

(1) V11.0.0より、以下のOSでの利用はサポート対象外となります。

- Solaris 10
- Solaris 9
- Windows 8
- Windows 7
- Windows Vista
- Windows Server 2012 R2
- Windows Server 2012
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008
- Windows Server 2003

(2) V11.0.0より、以下の機能はサポート対象外となります。

- Navigator連携
- XBRLデータ対応機能
- 旧機能のDatabase Direct連携機能
- Oracle E-Business Suite連携
- 旧機能のOCI連携機能
- 印刷(Print Managerと連携した高信頼印刷機能)
- 印刷(VSPシリーズのプリンタへのPostScript出力)

- 印刷(VSPシリーズの連帳レーザープリンタへの出力)
- 帳票Webサービス機能
- ホスト帳票のPDF変換(FNA経由)
- 帳票Webサービスインタフェース
- 旧機能のJavaインタフェースの以下のクラスとメソッド
  - ・ PrintPropertiesクラスの前メソッド、RemotePropertiesクラス、OwfPropertiesクラス、およびPrintFormクラスの前メソッド
- OWF生成ライブラリ
- CFXカスタムタグインタフェース
- 証明書を使用したPDFメール配信
- Form Coordinatorとの連携機能

### お客様向けURL

- ・ **ソフトウェア：富士通（Interstage List Creator）**

本商品の詳細は、以下のホームページを参照してください。

<https://www.fujitsu.com/jp/software/interstage/listcreator/>

- ・ **ソフトウェア：富士通（インフォメーション&ダウンロード）**

「ライセンスについて、くわしく知る」の項で、富士通製ミドルウェア製品のライセンスに関する解説、サポート期間などの情報を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/information-download/>